



森のようちえん全国交流フォーラム2014 in東北 実行委員長
佐々木豊志

未来を拓く力を育む「森のようちえん」を一緒に考えませんか？

人が自然と向き合ったとき、自然の摂理に気がつきます。
人が人と向き合ったとき、人の存在に気がつきます。
人が社会と向き合ったとき、社会の仕組みに気がつきます。

幼少年期に自然の中で存分に遊ぶと、たくさんのことに気がつく力を鍛えてくれます。
そして、目の前の課題を自ら見つけ、自分で考え、解決するために行動を起こす力を育てられるでしょう。

震災後、東北の子ども達が自然の中で遊ぶ機会が減っています。
自然と共にいて、人と共にいて、社会と共にいること……
東北の未来、日本の未来、そして、子ども達の未来を拓く力を育むために……
ここに集いましょう！

会場 オーエンス泉岳自然ふれあい館 (〒981-3225 宮城県仙台市泉区福岡字岳山9-8)
参加対象 幼児の自然体験・野外幼児教育・森のようちえんに興味関心のある方
定員 350名 (日帰り参加含む)
参加費

	参加費	食費宿泊費	懇親会費	合計
全日程 (一般)	¥18,000	¥8,000	¥2,000	¥28,000
全日程 (会員)	¥16,000	¥8,000	¥2,000	¥26,000
全日程 (小学生)	¥6,000	¥5,000	-	¥11,000
全日程 (幼児)	¥5,000	¥4,000	-	¥9,000
日帰り 田・園	¥4,300	¥700	-	¥5,000
日帰り 回	¥6,300	¥700	-	¥7,000
日帰り回(小学生)	¥1,500	¥500	-	¥2,000

▷森のようちえん、小学生キャンプ、託児の詳細はホームページをご覧ください。
▷キャンセル料：後日郵送する資料にてご案内

受付開始 全日程参加 (森のようちえん全国ネットワーク会員) 9月1日(月)
全日程参加 9月8日(月)
日帰り参加 9月15日(月)

申込締切 10月19日(日) (定員になり次第締切)

申込先 <http://forum.morinoyouchien.org/>



第10回 森のようちえん 全国交流フォーラム2014 in東北

「笑がお 輝け 森わらし」

2014.11.22日-24日

会場：オーエンス泉岳自然ふれあい館 (〒981-3225 宮城県仙台市泉区福岡字岳山9-8)
主催：「森のようちえん全国交流フォーラム2014in東北」実行委員会
共催：森のようちえん全国ネットワーク・公益社団法人国土緑化推進機構
協賛：Coleman® mont-bell patagonia

基調講演

子どもの元気大作戦
 ~知ろう 子どものカラダとココロ~



野井 真吾 教授

日本体育大学 体育学部健康学科教授。
 学校保健、教育生理学、発育発達、体育学を専門領域として、子どもの“からだ”にこだわって研究を続けている。著書に『新版からだの“おかしさ”を科学する』（かもがわ出版）、『子どもの体温と健康の話』（芽ばえ社）、『子どものケガをとことんからだで考える』（旬報社）など。

13:00 開会式

13:20 基調講演
 野井真吾教授

14:50

15:00 対談
 野井真吾教授 & 内田幸一

16:00 スライドショー
 「その命 輝くところ」 小西貴士

17:30 夕食・入浴

20:00 フリー分科会
 参加者による自主企画の発表を募集します。

21:00 フリータイム

06:30 早朝オプション
 07:15 参加者による自主企画の発表を募集します。

07:30 朝食

09:00 分科会 A

A1 森のようちえんの子育て
 ~家庭で役立つ子育ての「つぼ」~
 内田幸一
森のようちえん全国ネットワーク運営委員長 / 飯網高原ネイチャーセンター

A2 子どもに寄り添うということ
 ~アレルギー児と発達障がい児の森での日常から~
 浅井智子
森のわらべ多治見園 野沢俊豪 NPO法人ネイチャーマジック 森のようちえん さんぼみち

A3 里山のあそびとくらし
 井上 亘
認定こども園めこたま

A4 そうだったのか! 目からウロコのほんとはツカエル
 応急手当のイロハ
 鈴木哲士
ディックファーストエイドインターナショナル株式会社 辻 英之 NPO法人グリーンウッド自然環境教育センター

A5 ハレの日の森のようちえんの実践例
 木村元忠
一般社団法人 鳥取県産産園児公社 塚原俊也 一般社団法人 くりこま高原自然学校

A6 こどもとファンタジーをつなぐ
 森空間の整備
 吉成信夫
森と風のがっこう

A7 森のようちえん版森づくり
 ~幼児から始まる森とのかかわり~
 小菅江美
森のようちえん てくてく 上田 融 NPO法人ねおす

A8 放射能と福島のかくらし
 清水義広
NPO法人 ぶくしま30年プロジェクト

ws-A 森がなくてもできる! 自然体験活動
 ~シェアリングネイチャーに学ぶ~
 白壁洋子
森の仲間たち

11:00 11:00

11:00 昼食

12:30 分科会 B

B1 毎日の森のようちえん実践例
 ~保育者の思い 見直し 保育内容の実際~
 沼倉幸子
森のようちえんはっぴー 野村直子 森のようちえんLittleTree/ももが丘分科会

B2 知識の源泉としての野外教育
 ~スウェーデンのアウトドア環境教育に学ぶ~
 西浦和樹
宮城学院女子大学

B3 子どもの心を育てるわらべうた
 降矢美彌子
宮城教育大学名誉教授

B4-C4 川遊びを安全に楽しむための水辺のリスクマネジメント講座
 相馬 孝
小川原湖自然楽校

B5 森のようちえんの運営とその実際
 内田幸一
森のようちえん全国ネットワーク運営委員長 / 飯網高原ネイチャーセンター

B6 森のようちえんの社会化
 ~運営形態の違いを超えた社会化の可能性を探ろう~
 小菅江美
株式会社ティナライフ森の家 田手扶紀 NPO法人しんりん

B7 自然と共生する森づくりと暮らしづくり
 大場江美
株式会社ティナライフ森の家 田手扶紀 NPO法人しんりん

B8 震災で試された生きる力は幼児期に育まれる
 佐々木豊志
一般社団法人くりこま高原自然学校

ws-B お母さんが作る森で食べたい田舎のおやつ
 塚原茉衣子
一般社団法人くりこま高原自然学校

14:30

15:00 分科会 C

C1 迷いませんか? 待つべきことと待ってはいけないこと
 ~森のようちえんピッコロ保育事例より~
 中島久美子
森のようちえんピッコロ

C2 北欧から学ぶセンスオブワンダー
 ~デンマークとフィンランドの事例から~
 柴田千賀子
桜の聖母短期大学

C3 幼少児と楽しい海遊びをするためには?
 打矢繁美
NPO法人あきた海辺の自然学校

C5 生きるための直感力を養うヒヤリハット71の体験
 中能孝則
公益財団法人社会教育協会 日野社会教育センター

C6 長野県・鳥取県の行政との連携から学ぼう
 寺谷誠一郎
智頭町長 小林成親 長野県野外保育連盟 鳥取県子育て王国推進局 担当者

C7 火育と木質バイオマス ~子どもと地域を育む森のエネルギー~
 大場隆博
NPO法人日本の森バイオマスネットワーク 佐々木豊志 一般社団法人くりこま高原自然学校

C8 福島の現状と子どもたちの自然体験
 吉野裕之
NPO法人 シャローム災害支援センター

ws-C 森の劇場 ちりんぼろん♪ ~森で楽しむお話やうた~
 小林直美
森のたんけんたい

17:00

18:30 夕食&懇親会(入浴随時)

20:30 フリータイム

期間中開催
モリヨウモリヨウ キャンプ
 森のようちえん&小学生キャンプ

現在企画進行中!
 詳しくはフォーラムHPを



森のようちえん 全国ネットワーク運営委員長
内田 幸一

自然体験型の幼児教育の実践を通じて、幼児に何が育つのか考えてきました。保育者の関わり方、環境や活動、その良否も少しは分かって来たところです。その年齢に応じた育ちを十分保証してあげたいものです。幼児期の毎日が充実感あるものに、がモットーです。

長野県

長野県の子育て支援施策の中で大きく注目したいことは、「信州型自然保育検討事業」です。この事業では、自然と積極的に関わる保育や幼児教育のあり方を検討し、自然保育の認定制度とあわせて、県内の多くの子どもたちの自然体験が広がる環境の実現を目指しています。

鳥取県

鳥取県でも、学識経験者を含めた検討委員会によって、森のようちえんの認証制度を検討しており、また、それに先立つ形でモデル事業運営費助成として、県内森のようちえんへ行政支援をしています。

06:30 早朝オプション
 07:15 参加者による自主企画の発表を募集します。

07:30 朝食

09:00 特別企画鼎談
 長野県 阿部守一知事 × 鳥取県 (調整中) × 内田幸一

10:45

11:00 11:40 12:00
 ふりかえり
 閉会式

12:15 森のようちえん
 13:00 全国ネットワーク総会

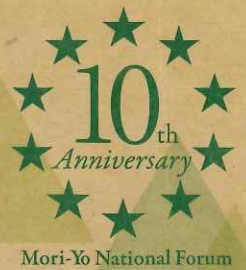
特別企画鼎談

草の根的に広がってきている森のようちえんの活動に対して、先駆的に取り組む長野県知事と当団体委員長内田による鼎談が実現します(※鳥取県は鼎談者を調整中)。森のようちえんの活動が教育・保育・子育て支援として重要であると、行政が目をつけていただきつつあります。これまでの積み重ねてきた私たちの活動が評価され、このような取り組みが進みつつあることを嬉しく思います。このような地方からの取り組みが全国にひろがり、今後の教育・保育の在り方に革命を起こすうねりになり、すべての子どもの利益につながるよう期待してやみません。鼎談では、子育て支援の想いや、森のようちえんへの熱意を熱く語っていただけることでしょう。



自然体験と子育て幼児教育を考える

森のようちえん



第10回 森のようちえん 全国交流フォーラム2014 in 東北 報告書

「笑がお 輝け 森わらし」


2014.11.22_日-24_日

オーエンス泉岳自然ふれあい館

会場：オーエンス泉岳自然ふれあい館（〒981-3225 宮城県仙台市泉区福岡字岳山9-8）

主催：「森のようちえん全国交流フォーラム2014in東北」実行委員会

共催：森のようちえん全国ネットワーク・公益社団法人国土緑化推進機構

協賛： mont-bell patagonia

後援：内閣府・文部科学省・林野庁・青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県・KHB東日本放送
TBC東北放送・ミヤギテレビ・仙台放送・エフエム仙台・fmいずみ797・河北新報社・大崎タイムス